

一般財団
法人

鹿児島陸上競技協会通信 『恒星』

2019.1.6

TEL 099-259-6053/FAX 099-299-6054 HP;http://www3.synapse.ne.jp/karikupage

謹賀新年 平成31年元旦 交 迎 け る !

鹿児島陸上競技協会の会員の皆さまにおかれましては、
健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
白波スタジアムのリニューアルオープン之年明けです。
本年も倍旧の御支援御協力を賜りますようよろしくお願い
申し上げます。

神村学園高 悲願の全国制覇

年の瀬が押し迫った昨年12月23日に京都で恒例の第30
回全国高等学校駅伝競走大会が行われ、本県代表の神
村学園高校が悲願の全国制覇を成し遂げました。県勢とし
ては2010年(平成22年)男子優勝の鹿児島実業高校に続く8
年振り、女子では初の快挙となりました。

レースは、1区の平田歩弓が過去の反省を踏まえ、慎重
かつ冷静な走りで見事集団の好位置につけてタスキをつな
ぎました。2区から4区は、中須瑠菜・黒川円佳・木之下
沙椰の1年生トリオの出走。途中少し順位を下げました
が、常にトップチームを視野に置いた粘り強い力走で流れ
を崩さず、アンカーのカマウタビタジュリに逆転勝利の
望みを託す展開となりました。カマウは期待どおりの激走
で、31秒差の5位から中間過ぎにはトップに躍り出て、そ
のまま勝利のテープを切りました。タイムは同チームの今
シーズン最高の1時間7分25秒。

串木野女子高校から神村学園高校に校名を変えて、苦節
30年の全国制覇でした。特に、最近3、4年は厳しいチ
ーム状況を抱えながらの見事な復活勝利で、栄冠をつかま
しました。

切り札を擁するチームだったとはいえ、有川哲蔵監督の
1年生選手の大胆な起用、その期待に応えた選手の健闘を
重ねて称えます。

平成最後、第30回という記念の大会を締め括った神村学
園高校の優勝は、2年後に第75回国民体育大会「燃ゆる感
動かごしま国体・かごしま大会」を迎える本県陸上競技界
にとつて、士気を高め、弾みとなる朗報であり、そうしな
ければという決意を強くしました。

『西郷どん』のNHKの大河ドラマ放映で始まった平成
30年の幕開けの鹿児島でした。そして、明治維新150年の
締めを神村学園高校の優勝が華を添え、県民や陸上競技フ
ァン、鹿児島陸上競技協会関係者に最高のプレゼントを
提供していただきました。ほんとうに嬉しく、無上の喜び
を感じています。

ひとえに、学園の関係者の温かい御理解御支援や有川監
督の勝利に懸けた執念の賜物であり、選手・部員のたゆま
ぬ努力と汗の結晶であります。改めて心から感謝と敬意を
表します。

2020年 第75回国民体育大会

「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」まで650日
2年後に向けた足掛け2か年にわたる長い改修工事が3
月下旬には終了し、4月からはリニューアルされた白波ス
タジアムで新しい機器等を使って競技会を開催します。

平成30年 薩摩川内市で5競技会開催 お礼と感謝

昨年のは前半は薩摩川内市総合運動公園陸上競技場で5競
技会、延べ11日の大会を開催いたしました。薩摩川内市
関係の皆さまや地域の会員の方々にはたいへんお世話にな
り、誠にありがとうございます。改めてお礼と感謝を申
し上げます。特に、7月6日から8日まで行いました第72
回県陸上競技選手権大会は、大雨の悪天候の中での開催と
なりましたが、3日間ほぼタイムテーブルどおり実施する
ことができました。ほんとうにありがとうございます。
7月下旬からの後半は、鴨池補助競技場での開催で何か
と不自由な競技会運営を強いられましたが、皆さまの御理
解や御協力をいただき、大過なく運営をすることができま
した。改めて心からお礼と感謝を申し上げます。

国体成功の鍵 選手の活躍と円滑な競技会運営!!

今年の5月から新しい元号がスタートします。2020年開
催の「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」まで残
り650日。国体成功に向けた猪突猛進の1年です。一気に
突っ走りましょう。御協力をよろしくお願いいたします。

福井しあわせ元気国体 女子チーム躍進! 総合・天皇杯 22位 女子・皇后杯 13位

カマウタビタ(神村学園) 山元祐季(鹿児島女子) 2位入賞

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」陸上競技
会は10月5日から9日までの5日間にわたって、福井県営
陸上競技場で開催されました。

本県からは6人のふるさと選手を含め、男子16人、女子
13人の合計29人の選手が出場しました。

大会初日は成年女子5000mの京セラの山ノ内みなみの5
位入賞のみで、前途多難を思わせる厳しいスタートとなり
ました。

2日目は台風25号の接近があり、風が舞う中での競技進
行となりましたが、神村学園高校1年の黒川円佳が少年女
子Bの1500mで4位、鹿児島相互信用金庫の青柳唯が成年
女子の棒高跳と成年男子100mにおいて大東文化大学4年
の白石黄良々が6位に入りました。

3日目は成年男子三段跳の順天堂大学2年の竹之内優
汰と、少年男子Aのハンマー投の鹿児島南高校3年の大久
保宥紀がそれぞれ6位入賞を果たしました。

4日目に一気に爆発。神村学園高校のカマウタビタジュ
リが少年女子Aの3000mで、また、少年女子共通やり投で
鹿児島女子高校3年の山元祐季が共に2位に入賞。インタ
ーハイに続いての上位入賞となりました。少年男子A三段
跳鹿児島高校3年の松下悠太郎も7位に入りました。

これらの結果、男女総合の天皇杯得点は前回とほぼ同じ
47点で、県別順位22位。皇后杯となる女子総合得点は36
点を獲得し、13位となり前回の29位から大きく順位を上げ
ました。

いよいよ2020年の「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま
大会」まで1年10か月。千支にちなみ、猪突猛進です。

各選手の成績は次のとおりです。

少年女子A3000m	2位	8'52"41	カマウタビタ(神村学園)
少年女子共通やり投	2位	50m79	山元祐季(鹿児島女高)
少年女子B1500m	4位	4'27"43	黒川円佳(神村学園)
成年女子5000m	5位	16'41"67	山ノ内みなみ(京セラ)
成年男子100m	6位	10"97	白石黄良々(大東大)
成年男子三段跳	6位	16m01	竹之内優汰(順天堂大)
少年男子Aやり投	6位	60m61	大久保宥紀(鹿児島南高)
成年女子棒高跳	6位	3m80	青柳唯(鹿児島相信)
少年男子共通三段跳	7位	15m13	松下悠太郎(鹿児島高)

天皇盃・皇后盃

都道府県対抗女子・男子駅伝競走大会

☆☆ 本県チーム代表候補選手決定 ☆☆☆

新春恒例の全国都道府県対抗駅伝競走大会は、女子が1
月13日に京都で、また、男子は20日に広島で行われます。

神村学園高校に続き 鹿児島旋風を!

候補選手たちは大会に向けて、練習会や年末に吹上浜公
園で合宿を行いました。年末の神村学園高校の全国制覇に
触発され、ムードも高まっています。きっと県民や陸上競
技関係者の熱い期待に応えてくれることでしょう。皆さ
まの温かい御声援をお願いいたします。

第37回となる女子は、1月13日(日)12時30分スタート。
9区間42.195kmで争われます。

(選手)	山ノ内 みさき (京セラ)
	堀池 なずな (京セラ)
	倉岡 綾乃 (鹿児島銀行)
	平岡 奈々 (デンソー：ふるさと選手)
	原田 歩 (神村学園高校3年)
	尾原 つづ (樟南高校3年)
	宮方 華々 (樟南高校3年)
	黒宮 佳奈 (鹿児島女子高校3年)
	古川 結美 (神村学園高校1年)
	森野 小優 (樟南高校2年)
	小園 花華 (城西中学校3年)
	小園 花華 (国分南中学校3年)
(監督)	尾上 寿 (東市来中学校)
(コーチ)	宮脇 邦浩 (東谷山中学校)
(支援助)	松村 征治 (谷山中学校)
	立元 敦 (出水中学校)
	元 玲 (鹿児島体育大学)
	立元 玲 (出水養護学校)
(庶務)	立元 玲 (出水養護学校)

男子は広島で20日(日)12時30分号砲

第24回の大会となる男子は、20日に7区間48.0kmで戦いが繰り広げられます。旭化成の市田孝をふるさと選手として加え、社会人・大学生や高校生、中学生の総合力で勝負します。頑張れ!

(選手)	市田孝広	(旭化成;ふるさと選手)
	中村山	(京セラ鹿児島)
	永加藤	(早稲田大学4年)
	添有	(鹿児島実業高校3年)
	山須	(鹿児島城西高校3年)
	石三	(鹿児島城西高校3年)
		(樟南高校2年)
(監督)	小原秀樹	(田崎中学校3年)
(コーチ)	中浦将太	(出水中学校3年)
(コーチ兼庶務)	外山善久	(大隅中学校3年)
(支援コーチ)	永田宏一	(高尾野中学校教諭)
	高脇征治	(波野中学校教諭)
	宮高敏寛	(指宿商業高校教諭)
(トレーナー)	溝上勇治	(鹿児島商業高校教諭)
		(出水中学校教諭)
		(鹿児島城西高校教諭)
		(溝上鍼灸マッサージ院)

駅伝大会ニュース

県中学校駅伝競走大会 11月8日 指宿で開催

男子 田崎2連覇 女子 国分南 初優勝

平成30年度県中学校総合体育大会第67回男子・第31回女子県中学校駅伝競走大会は指宿陸上競技場を発着とするコースで11月8日に行われました。

男女とも各地区の予選を勝ち抜いた39チームが、男子6区間20.0km、女子5区間12.0kmで熱戦を展開しました。

男子は田崎中学校の須山向陽が1区の区間賞を取り、先行したが、2区以降の激しい順位争いが繰り広げられました。最終区で逆転した田崎中が2連覇を飾りました。

女子も首位が目まぐるしく入れ替わる展開となりましたが、4区で先頭に立った国分南中学校が逃げ切り、歓喜の初優勝を遂げました。

男女共1位は全国大会へ、2位までのチームは九州大会に出場しました。

男女3位入賞のチーム及び記録は、次のとおりです。

【男子】	1位	田崎中	1° 3' 18"
	2位	出水中	1° 3' 41"
	3位	川内中央中	1° 3' 47"
【女子】	1位	国分南中	41' 44"
	2位	東谷山中	41' 58"
	3位	城西中	42' 37"

九州中学校駅伝競走大会 12月1日 宮崎・西都市で開催

男子 出水中 女子 東谷山中 共に4位

平成30年度九州中学校体育大会第38回男子・第30回女子九州中学校駅伝競走大会は宮崎県西都市のマラソンコースで、各県の予選を勝ち抜いてきた14チームに開催県枠の2チームを加え、男女それぞれ18チームが出場して行われました。男子は県大会と同様6区間20.0km、女子も同じ5区間12.0kmで争いました。

男子は県予選大会2位の出水中中学校が4位、田崎中学校は5位に入賞。また、1区4.0kmで田崎中の須山向陽が11分50秒で区間賞に輝きました。

女子も県大会2位の東谷山中中学校が4位、田崎中学校は9位となりました。

出場チームの成績及び記録は次のとおりです。

【男子】	4位	出水中	1° 3' 42"
	5位	田崎中	1° 4' 1"
【女子】	4位	東谷山中	41' 42"
	9位	国分南中	42' 11"

全国中学校駅伝競走大会 12月16日 滋賀県で開催

男子 田崎中 26位 女子 国分南中 25位

全国の各県の代表チームが集う第26回全国中学校駅伝競走大会は、12月16日に滋賀県希望が丘文化公園スポーツゾーン特設コースで、男子6区間18.0km、女子5区間12.0kmの距離で日本一を目指した戦いが繰り広げられました。本県からは男子が田崎中学校、女子は国分南中学校が出場しました。

両チームの成績及び記録は次のとおりです。

【男子】	26位	田崎中	59' 00"
【女子】	25位	国分南中	43' 23"

県高校駅伝競走大会 11月2日 指宿で開催

男子 鹿児島城西高初V 女子 神村学園高3年連続V

第69回県高校男子駅伝競走大会及び第32回県高校女子駅伝競走大会は、11月2日指宿市菅陸上競技場をスタート・フィニッシュとするコースで行われました。

男子は7区間42.195km、女子は5区間21.0975kmで争われました。

男子は、樟南高校と鹿児島実業高校、鹿児島城西高校が三つ巴となり、前半激しく順位の入替わり展開となりました。4区でトップに立った鹿児島城西高校がそのままフィニッシュし、念願の初優勝を飾りました。

女子は、樟南高校が1区で好スタート切り、いい流れで終始先行する展開になりました。しかし、切り札を擁する神村学園高校が最終5区で逆転し、勝利のテープを切りました。神村学園高は3年連続25回目の優勝。

男女3位までの入賞校は次のとおりです。各校は11月18日に福岡県で行われた九州大会に出場しました。

【男子】	1位	鹿児島城西高	2° 8' 19"
	2位	鹿児島実業高	2° 8' 50"
	3位	樟南高	2° 9' 10"
【女子】	1位	神村学園高	2° 8' 40"
	2位	樟南高	2° 8' 53"
	3位	鹿児島女子高	2° 11' 34"

全九州高校駅伝競走大会 11月18日 福岡県で開催

神村学園 3年連続7回目の優勝 樟南高も都大路へ

第71回男子・第30回女子全九州高校駅伝競走大会は、11月18日に福岡県の嘉穂総合運動公園周辺コースで、男女各24チームが出場して行われました。

神村学園高校が3年連続7回目の栄冠に輝き、樟南高校は3位に入り、30回記念大会のブロック代表権を獲得して、都大路へ駒を進めることができました。

本県の代表チームの成績は次のとおりでした。

【男子】	7位	鹿児島城西高	2° 8' 48"
	14位	樟南高	2° 10' 55"
	16位	鹿児島実業高	2° 11' 25"
【女子】	1位	神村学園高	1° 8' 10"
	3位	樟南高	1° 8' 54"
	8位	鹿児島女子高	1° 11' 26"

全国高校駅伝競走大会 12月23日 都大路で開催

神村学園 初優勝 鹿児島城西 25位

年末恒例の第67回全国高校駅伝競走大会は各県代表の47チームが出場して12月23日に京都で行なわれ、鹿児島城西高校が初めて出場しました。

また、女子は30回記念大会となり、各県代表に11ブロックの代表を加え、58チームで争われました。本県からは神村学園高校と樟南高校の2校が出場。

別記のとおり、神村学園高が悲願の初優勝を飾りました。各チームの結果は次のとおりです。

【男子】	25位	鹿児島城西高	2° 8' 55"
【女子】	1位	神村学園高	1° 7' 25"
	14位	樟南高	1° 9' 26"

山ノ内みなみ(京セラ) JAAFグランプリチャンピオン!

一昨年霧島市の京セラ鹿児島に入社して活動をしている山ノ内みなみが2018JAAFグランプリシリーズの初代チャンピオンに輝きました。

山ノ内は昨年4月の競技会で5000mにおいて、15分21.31の好記録をマークして一躍日本のトップ選手に成長しました。その後、日本陸上競技選手権大会で3位に入り、8月にジャカルタで開催された第18回アジア競技大会に出場して6位に入賞しました。

また、12月には10000mにおいて、20年振りに県記録を大幅に更新する31分16秒48で走りました。

過剰な鉄分摂取に警告 鉄剤注射原則禁止

不適切な鉄剤注射の使用が問題になっていることを受けて、日本陸連は鉄剤注射を原則禁止とする指導指針を出しました。過剰な鉄分の摂取による内臓沈着が機能障害を起こす恐れがあるということで、日本陸連は2016年に「アスリートの貧血対処7か条」を出しています。

詳しくは日本陸上競技連盟及び鹿児島陸上競技協会のHPをご覧ください。御活用ください。

1月19日 天文館びらもーるで「アスリート陸上」開催

1月19日(日)14時から、鹿児島市の天文館のびらもーるで「アスリート陸上」が行われます。

2020年開催の「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」広報活動として鹿児島市国体実行委員会が開催します。